インターバンクの声（2014 年 8 月 13 日）

昨日のアジア時間午前中に発表のあったニュージーランドの住宅指標、豪州の企業景況感や住宅価格指数結果に、ニュージーランド・ドルや豪ドルがそれぞれ本当に素直な反応を見せてくれたが、相場にトレンドが生じることはない。欧州市場のスタート時に発表された独 ZEW 景気期待指数は、市場予想や前月の数字から大きく下回る結果となり、ユーロは３５ポイント程下落したが、ニューヨーク市場終盤には下落前の水準に値を戻している。

プロ、アマを問わずレンジ相場を得意とするディーラー諸氏も多いが、それでも狭いレンジの中で時間を掛けながら一方向にしか動いてくれない相場が相手では難儀していることだろう。今日も海外市場の時間帯に入れば英国のインフレ・レポート、米国の小売売上などの発表があるが、アジア時間の注目は何と言っても本邦第２・四半期 GDP 速報だろう。数字が強ければ株価を中心に活気が出るかもしれないが、弱かった場合に今後の日銀での追加緩和期待が盛り上がるのかどうかが為替相場に影響することになりそうだ。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社
お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、 複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。 また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。
本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。